

第88回国立歴史民俗博物館運営会議議事要旨

日 時 令和5年10月26日(木) 13:00~14:30
場 所 国立歴史民俗博物館 大会議室
出 席 者 [館外運営会議委員]
市澤委員(副議長)、梅崎委員、江村委員、小澤委員、木下委員、坂上委員、
鈴木委員、徳丸委員、村上委員
[館内運営会議委員]
山田委員(議長)、関沢委員、小倉委員、坂本委員、高田委員、松木委員、
大久保委員、林部委員、日高委員、三上委員
欠 席 者 木川委員、Batten委員
陪 席 者 館長、管理部長、総務課長、財務課長、研究協力課長、博物館事業課長、
総務企画係、人事係

会議開会にあたり、西谷館長から挨拶があった。

続いて、総務課長から、本会議は次期館長候補者の選考の審議を行うため、「国立歴史民俗博物館館長選考手続きに関する申合せ」第4の2に基づき、館外委員、館内委員、各々委員数の3分の2以上が定足数であるとの説明があり、館外委員9名(定足数8名)、館内委員10名(定足数7名)が出席しているため、定足数を満たしている旨の報告及び配付資料の確認が行われた。

○議 事

(1) 前回議事要旨確認

山田議長から、資料1に基づき、前回(令和5年5月29日開催 第87回国立歴史民俗博物館運営会議)議事要旨(案)の確認が行われ、原案どおり承認された。

(2) 審議事項

①次期館長候補者の選考について

山田議長から、前回の運営会議で発議された次期館長候補者選考の経緯について説明があり、木下館長候補者選考委員長から、資料2(回収資料)に基づき、適任者名簿作成及び選考過程についてそれぞれ説明があった。

投票に先立ち、投票立会人の選出が行われ、村上委員(館外)と日高委員(館内)が指名された。その後、館長候補者適任者名簿に基づき選考を行い、単記無記名の投票を行った結果、次期館長候補者1名を選出した。

次いで、議事を一時中断した上で、山田議長から次期館長候補者へ就任の意思確認が行われ、次期館長候補者の就任の意思が確認されたため、議事を再開し、本会議として次期館長候補者として人間文化研究機構長に推薦することが承認された。

また、木下館長候補者選考委員長から、館長候補者選考委員会からの申し送り事項について説明があり、山田議長から今年度の運営会議で検討していきたいと発言があった。

②教員の選考について

山田議長から発議があり、投票立会人の選出が行われ、村上委員(館外)と日高委員(館内)が指名された。

・近現代史教授

木下教員候補者選考委員長から、資料3-1(回収資料)に基づき、審査報告について説明があり、審議、単記無記名の投票を行った結果、近現代史教授1名の採用を承認した。

- ・近現代史准教授

木下教員候補者選考委員長から、資料3-2（回収資料）に基づき、審査報告について説明があり、審議、単記無記名の投票を行った結果、近現代史准教授1名の採用を承認した。

- ・美術史准教授

木下教員候補者選考委員長から、資料3-3（回収資料）に基づき、審査報告について説明があり、審議、単記無記名の投票を行った結果、美術史准教授1名の採用を承認した。

（3）報告事項

①共同研究委員会報告について

- ・令和4年度共同研究終了課題の実績報告について

小澤共同研究委員会委員長から、資料4に基づき、令和4年度に終了した共同研究課題（基幹研究1件、基盤研究4件）の実績報告について報告があった。

- ・令和4年度共同利用型共同研究成果報告について

小澤共同研究委員会委員長から、資料5に基づき、令和4年度に実施した共同利用型共同研究（館蔵資料型5件、分析機器・設備利用型1件）の研究成果について報告があった。

- ・令和4年度日本歴史文化知奨励研究実績報告について

小澤共同研究委員会委員長から、資料6に基づき、令和4年度に実施した日本歴史文化知奨励研究（2件）の実績報告について報告があった。

②歴博の活動状況について

山田議長から、資料7に基づき、歴博の活動状況について報告があった。

（4）その他

特になし。